

おはよ

No7 2020.7.20 全職員版

全員登校が始まって・・・全国的に課題多し。

教室が狭くてギュウギュウ!

給食介助の教員は、
いつ昼食食べるの?

バス添乗員不足は結局教員で。



毎日の消毒作業で、休憩も
十分とれない!

職員室も三密状態、
なんとかして・・・

多くの学校でスクールバス増車、全国的に全面登校が始まっています。子どもたちに毎日会える学校が戻ってきた!と嬉しい反面、現場の負担は増すばかり。全教がまとめた全国の状況をいくつか紹介します。(6月24日現在) 全国どこでも悲鳴が・・・。

青森 5/7～全員登校 2学期から年度内バス増車。消毒作業業務過多。

奈良 7/1～肢・視・職

7/13～知・聴

肢・視・聴にバス1台ずつ増車
下校後20～30分かけて消毒

山口 5/25～全員登校

バス増車なし

プール水遊び不可。

マスク着用難しい生徒
は校外活動は不可。



北海道 6/1～全員登校

(寄宿舍、札幌圏肢体 15～)

ほとんどの学校に中型バス増車
添乗員無配置のため教員添乗。

東京 6/29～全員登校

給食2人介助不可、教員は下校
後昼食。現場の要望と関係なく、
物資が来るが本当に必要なもの
が来ない。

大阪 6/15～視・聴・職設置の知的、

22～知的。現段階での増車なし

行事等学校によって幅が大きい

管理職が職員に丸投げ状態が目立つ

愛知 6/15～全員登校

今の倍の数のバス予算つい
たが、添乗する人がいない。

休校中のオンライン授業はどこも推奨されたようですが、特支ではYouTubeが多く、WEB会議システム、DVD配布も。民間クラウドサービス導入を大々的に行ったのは兵庫だけという状況。障教組は当初から拙速な導入には多くの課題があると指摘してきましたが、多額の県予算を投資したにもかかわらず、実質稼働していない学校も多くあり、政策に疑問を感じざるを得ません。今求められるべきは、小中など普通校での20人学級、特別支援学校の増設そして「設置基準」の早期策定で、全教で文科省交渉を重ねています。声を上げなければ・・・。

裏へつづく

学びのコーナー

Zoom 学習会報告

「おはよ」第6号でお知らせした学習会、どんな様子だったか、少しばかりご紹介を!!



7月2日 18:30~19:30、「トイレ指導」の学習会をしました。参加の仕方も様々で、自宅だけでなく、教室に集まってワイワイと参加された先生方もいらっしゃいました。「そっか、教室にパソコン持ち込んで大型テレビに写せばみんなで参加できるんや!」と実感した次第です。

内容は、小5 自閉症女児。小便は自分から一人でトイレに行っているのに、大便是紙パンツでしかせず、トイレに行くどころか、出してはいけないと我慢している。どう指導したらトイレに行けるようになるのか? というものでした。

キーワードは『すべてのことには理由がある』『大人のペースでなく、子どものペース』

レポーターより

自分でもがむしゃらに、一生懸命になりすぎ、自分だけの思いでやっているのでは…と薄々気づいていた気がします。それをみなさんのお話を聞いて確信しました。トイレでの子どもの顔を思い出すと、険しい、固い、緊張の表情だったなど…。

支援する時、相手の子どもの気持ちや願いを考える…当たり前なことなのに自分の中で抜け落ちていました。ついついこちらの思いを前面に出しがちですが、支援を受ける子どもの気持ちや願いを考えるという、とても大事なことに気づかせてもらいました。本当に気づけて良かったです。やっぱり話すとて大事ですね! 聞くとて大事ですね! 学校を越えた意見交換って本当に大事ですね!



着替え、排せつ、食事など身辺自立は大事な教育的課題ですが、スキルを身に着けるだけでなく、土台の力をつけることが大切です。土台の力にはどんなものがあるか、ベテラン組合員の先生がこっそり教えてください。紙面の関係上、高教組 HP にスペシャル版をアップします。次ページをご覧ください。

次回、学習会は8月6日(木) 18:30~19:30 ごめんなさい、まだ組合員限定です。
テーマは「食事—どうしたら上手に食べられるかな—」

3会場を ZOOM でつないで

6月27日(土) 障教組 全県分会代表者会議開催しました



神戸会場

姫路会場



但馬会場での映像

全県の20分会から37名の参加を得て、当面の活動方針と課題を検討しました。不安いっぱい毎日なだけに、顔を合わすとホッとします。討議では、このコロナ禍の中で学校はどうあるべきか、私たち教員そして組合はどう動くべきか、熱心に意見交換がされました。次々にいろいろ起こり、学校は混乱しているし大変だけど、子ども達のため、仲間のために力を合わせて乗り切ろうという気持ちが高まる会議でした。

今こそつながりが大事! 組合に加入しよう!

スペシャル版 「身辺自立の土台の力チェック その1排せつ」

「はやく自立してほしい！」だからこそ、朝からしっかり体を動かしたり、いろいろなものに触れて遊んだり、人との関係性を高めたり・・・といった土台の力を必要です。これはあくまでも私見ですが、参考になればうれしいです。機能的に難しいことについては、お薬に助けをもらう方法もいろいろあります。「気持ちいいね」といっしょに喜び合えるように、丁寧に取り組みたいですね。

○体全体の成長発達や内部機能の土台は育っていますか？

- ・ある程度まとまった時間で睡眠、食事、排せつのリズムが整うこと
- ・胃や腸での消化吸収の機能
- ・膀胱や直腸である程度ためて、一気に出すために伸び縮みする機能
- ・消化吸収しやすいように嚙んだりすりつぶしたりの口腔機能
- ・腹圧をかけられる腹筋や踏ん張れるだけの足の力

○身体感覚の土台は育っていますか？

- ・ウンチやおしっこが溜ってきているなという感覚
- ・暖かい、冷たいという感覚。お尻がぬれたり汚れたりしているという感覚
- ・ぬれたり汚れたりしているのが取り除かれた時のさっぱり快感

○認識や社会性の発達の土台は育っていますか？

- ・「ウンチ」「オシッコ」「出るよ」などのことばの理解
- ・ウンチやおシッコが出ることを「良いこと」だと思えること
また、出たこと（たとえオムツの中でも）を「良かったね」と喜び合える関係
- ・「トイレでできるお兄ちゃんになりたい」というあこがれの気持ち
- ・大人（先生）に喜んでもらえることがうれしいという関係性や自尊心の育ち